みずほCustomer Desk Report　2016/05/16 号（As of 2016/05/13）

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
					公示仲値	108.94
TKY 9:00AM	109.12	1.1374	124.13	0.9710	1.4444	0.7316
SYD-NY High	109.57	1.1380	124.13	0.9774	1.4452	0.7324
SYD-NY Low	108.52	1.1283	122.75	0.9702	1.4340	0.7254
NY 5:00 PM	108.65	1.1310	122.77	0.9754	1.4358	0.7268
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		9.835/10.295	⊿25RR	1.098	Yen Call Over	

NY DOW	17,535.32	▲ 185.18	債券市場	日本2年債	-0.2500	0.3bp
NASDAQ	4,717.68	▲ 19.66		日本10年債	-0.1090	0.9bp
S&P	2,046.61	▲ 17.50		米国2年債	0.7459	▲0.8bp
日経平均	16,412.21	▲ 234.13		米国5年債	1.2056	▲3.1bp
TOPIX	1,320.19	▲ 17.08		米国10年債	1.7001	▲5.2bp
ｼｶｺﾞ日経先物	16,415	▲240.00		独10年債	0.1240	▲3.0bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	6,138.50	34.31		英10年債	1.3760	▲2.8bp
DAX	9,952.90	90.78		豪10年債	2.2740	▲2.1bp
ﾊﾝｾﾝ指数	19,719.29	▲196.17	為替市況	USD/CNH	6.5561	0.0075
上海総合	2,827.11	▲ 8.75		ドルインデックス	94.61	0.46
USDJPY 3M Vol	11.58	0.19%	商品市況	CRB指数	182.548	▲1.10
USDJPY 6M Vol	11.33	0.23%		NY金	1,272.700	1.50
EURJPY 3M Vol	12.32	0.29%		WTI	46.210	▲0.49
EURJPY 6M Vol	11.70	0.24%		Dubai Spot	43.59	▲0.30

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は109.12ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。日経平均株価は前日比ﾌﾟﾗｽで寄り付くも次第に上昇幅を縮小、ﾏｲﾅｽ圏まで沈む動きにﾄﾞﾙ円も連れ安となり108円台後半まで下落。黒田日銀総裁の「金融政策、効果がはっきりするまで待つということでは全くない」、「量、質、金利のいずれについても追加緩和の余地は十分ある」との発言が伝わるも相場への限定的となり、その後もﾄﾞﾙ円は下落基調での推移が続いた。引けにかけて日経平均株価が一段と下げ幅を拡大するとﾄﾞﾙ円は一時108.54まで下落。結局、108.59ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ時間のﾄﾞﾙ円は108.59ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。欧州株が前日比ﾏｲﾅｽで寄り付いたことを背景に一時108.52まで下落したが、その後は欧州株が底堅く推移し、ｸﾛｽ円も堅調に推移。ﾄﾞﾙｲﾝﾃﾞｯｸｽの上昇もあり、ﾄﾞﾙ円は108円台後半まで上昇し、108.81ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙはﾛﾝﾄﾞﾝｵｰﾌﾟﾝ前に1.13台後半から半ばへ急落し、1.1350ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。その後は1.13台前半から半ばにかけての方向感に乏しい推移が続き1.1351ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。ﾕｰﾛ圏第1Q･GDPは前期比+0.5%とｺﾝｾﾝｻｽ(同+0.6%)より若干弱い結果となったが、市場の反応は限定的となった。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ　日比野00531 444 179)

ニューヨーク

日経平均株価及び欧州株が下落する動きを受けて円買いが優勢となり、ﾄﾞﾙ円も108.52まで下落したが、その後は下げ渋り108.81ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。先日米小売大手が消費の低迷と観光客の減少を受け、通年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽを引き下げていたことから、予想比下振れするとの思惑が強まっていた米4月小売売上高が大きく予想を上回ったことから、ﾄﾞﾙ円は昨日の高値109.40を抜け、109.45まで上昇する。しかし、109.50付近では売り意欲も強く、同時に発表された米4月PPIが予想を下回ったこともあり、108.96まで下押しする。5月に入ってから株式市場が軟調に推移し、市場のｾﾝﾁﾒﾝﾄが悪化しているとの見方から米5月ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者信頼感指数も弱含むとの思惑があったものの、95.8と市場予想(89.5)を上回ったことからﾄﾞﾙ買いが強まり109.57まで上昇する。しかし株式市場では次の利上げの時期がやや前倒しになるとの見方が一部で強まり、ﾏｲﾅｽ圏へ下落する展開に円買い戻しが優勢となり109.05まで反落する。午後は、本邦一部報道が安倍首相は来年4月の消費増税を再び延期することを固めたと報じたことから109.09まで戻すが、株式市場が大幅に下落する展開に108.58まで下落し、108.65ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、海外市場で狭い値動きが続いたﾕｰﾛﾄﾞﾙは、独第1Q･GDPが予想を上回ったが、ﾄﾞﾙ買いが優勢になり1.1329まで下落し、1.1351ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、米4月小売売上高、米5月ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者信頼感指数結果を受けたﾄﾞﾙ買いや、米銀大手が今後3週間のﾕｰﾛﾄﾞﾙの売りを推奨するﾚﾎﾟｰﾄを出したとの話しもあり、1.1283まで下落する。午後は、週末を控え閑散な推移が続き、1.1310ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：濱・森谷

【昨日の指標等】

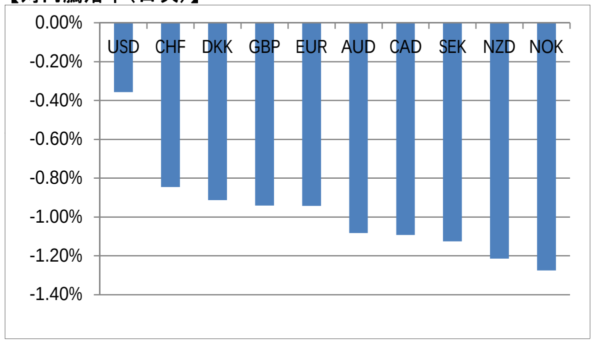
Date	Time		Event		結果	予想
5月13日	12:30	日	黒田日銀総裁講演	–	–	–
	15:00	独	EU基準CPI(確報、前月比/前年比)	4月	−0.5%/−0.3%	−0.5%/−0.3%
	15:00	独	CPI(確報、前月比/前年比)	4月	−0.4%/−0.1%	−0.4%/−0.1%
	15:00	独	GDP(季調済・速報、前期比/前年比)	1Q	0.7%/1.6%	0.6%/1.5%
	18:00	欧	GDP(季調済・速報、前期比/前年比)	1Q	0.5%/1.5%	0.6%/1.6%
	21:30	米	小売売上高(速報、前月比)	4月	1.3%	0.8%
	21:30	米	PPI(最終需要、前月比/前年比)	4月	0.2%/0.0%	0.3%/0.2%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド(速報)	5月	95.8	89.5
5月14日	14:30	中	鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	4月	6.0%/10.1%/10.5%	6.5%/10.6%/11.0%

【本日の予定】

Date			Event		予想	前回
5月16日	08:50	日	国内企業物価指数(前月比/前年比)	4月	0.2%/−3.7%	−0.1%/−3.8%
	15:00	日	工作機械受注(速報、前年比)	4月	–	−21.2%
	21:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	5月	6.50	9.56
	23:00	米	NAHB住宅市場指数	5月	59	58

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.50	1.1330-1.1430	123.50-124.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外市場は発表された4月の米小売売上高が前月退避1.3%増となり、15年3月以来となる伸びとなったことや、ミシガン大学が発表する5月の消費者景況感指数が95.8と市場予想を上回ったことを受け、年内乗り上げ観測が再燃。ドルは対ユーロで約2週間ぶりの高値をつけるなど、総じてドルが上昇。ドルインデックスも4/27以来の高値をつけた。しかし対円ではドルは伸び悩み、ドル円相場は109円前半から108円台中盤まで緩やかな円高進行となった。